

海外安全対策情報（香港・マカオ）

1 2015年7月～9月の間に邦人が巻き込まれた犯罪

2015年7月～9月の間の在香港日本国総領事館管轄域内における日本人の犯罪被害件数は、22件でした（当館把握分）。被害内容は、窃盗による被害が主なもので、交通機関内や駅構内で荷物から貴重品をスリとられる、マカオのカジノ等で鞆を持ち去られるなどの被害が見受けられました。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

日本人の被害は報告されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当地にて、テロ・爆弾事件の発生は報告されていません。しかし、10月3日午前（現地時間）、バングラデシュ北西部のロングプール県（首都ダッカから約300キロ）において、リキシャに乗車していた日本人男性が、オートバイに乗った者らにけん銃で撃たれ、殺害されました。本件に関し、「ISIL（イラク・レバントのイスラム国）バングラデシュ」を名乗る組織が犯行声明を発出し、イスラム諸国における外国人に対するさらなる攻撃の可能性を示唆しています。つきましては、上記のような情勢に十分に留意し、誘拐、脅迫、テロ等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、各地域の特徴を踏まえた上で、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに、状況に応じて適切な安全対策が講じられるよう心がけてください。

4 対日感情

一般的には良好ですが、先の大戦に関連して我が国に対する要求を行う団体、尖閣諸島に関して中国の領有権を主張する団体等による抗議活動は、依然として継続されており、引続き注意が必要です。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

6 治安情勢

香港・マカオ、両地域の最新の政府発表による犯罪発生件数を前年同時期等と比較したところ、香港及びマカオともほぼ横ばいの傾向が続いており、治安情勢は比較的安定していると言えます。

（1）香港警察発表による2015年1月～8月の犯罪発生件数

2015年1月～8月の犯罪発生件数は、46,064件で、前年より425件多くなっています（約0.9%増加）。この中で、恐喝（831件、約36%増加）、強姦（51件、約24%増加）、及び、詐欺（7,142件、約22%増加）については増加の傾向が顕著であり、特に注意が必要です。

(2) マカオ保安司発表による2015年上半期の犯罪発生件数

2015年上半期の犯罪発生件数は、7,025件で、前年より65件少なくなっています(約0.9%減少)。この中で、不法監禁(170件、約113%増加)、放火(13件、約86%増加)、及び、高利貸し(153件、約39%増加)についてはそれぞれ増加傾向にあり、特に注意が必要です。

(3) その他(香港へのスタンガンの持込み)

香港においては、スタンガンは「武器」として取り扱われているところ、その所持は法律で禁止されており、違反者は最大10万香港ドルの罰金と禁固14年の刑に処せられる可能性があります。最近、香港へ旅行する前にスタンガンを購入し、香港国際空港で逮捕されるケースが増えていることから、特に注意が必要です。